

ロータリー財団 地区補助金事業報告

広島東南ロータリークラブ(G - 7)

● 広島市立舟入病院へ緩和ケアのための移動補助器具(患者移動用マット)の贈呈

- 贈呈式 ● 日 時：2011年10月17日(月)午後2時より
- 場 所：広島市立舟入病院

● プロジェクト概要

本年度、ロータリー財団地区補助金事業として承認されたプロジェクトは「広島市立舟入病院へ緩和ケアのための移動用補助器具(患者移動用マット)の贈呈」です。

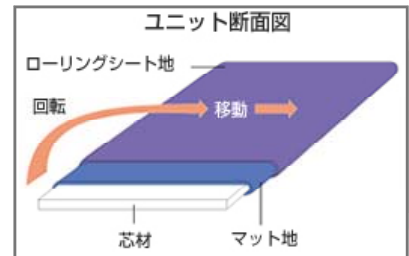
2007 - 08年度・広島県立広島病院、2009-10年度・広島市立広島民病院に、患者移動用マットを贈呈。各病院からは「患者さんがベッドを移動する際に激痛を感じることなく楽に移動でき大変喜ばれていること」、「医療従事者が腰を痛めたりすることもなく、大変有り難い」との好評を得ています。

本年度、広島市立舟入病院を贈呈先に選定しました。

患者さんの移動補助器具は、がんをはじめとする重症患者、ご家族、医療スタッフの肉体的負担を軽減することが出来ます。そのことにより、広島市立舟入病院の医療活動が充実されることにつながり、地域住民の福祉向上につながることを期待されます。

贈呈式には病院から市川徹病院長、平松みさ子総看護師長、出来幸裕庶務担当の3名のご出席を賜り、当クラブからは神辺真之会長、中村財団活動委員会理事、橋本奉仕プロジェクト委員会理事をはじめ、総勢10名が参加しました。

神辺会長から「患者移動用マット5枚」の目録が市川病院長に手渡され、市川病院長から「患者負担の軽減と医療従事者の省力化が可能となり、大切に活用させていただきます」と謝辞が述べられ、感謝状が交付されました。



滑りのよい2つの繊維素材の組み合わせにより、ローリング・シート地がスムーズにマットの周りを回転し、わずかな力で楽に動かすことができます。

